

2023 年 9 月 11 日

9 月 7 日の暮らし・まち分科会の発言の追加説明・修正・追加意見など

宮本みち子

<追加説明>

ミドル期シングルが増加する理由

1980 年代までは、若者が就職・進学で足立区等に転入し、その後結婚・出産・子育ての時期になると、主に広い住宅を求めて郊外に転出した。その結果東京 23 区の人口は減少した。ところが 1990 年代後半以後、都区部への人口集中傾向が強まったとともに、人口移動の形に変化が生じた。晩婚化・未婚化が進行し、若者がシングルのまま区内に残るようになったため、区の人口が増加するようになったのである。シングルの構成は未婚者（約 8 割）と離婚者（約 2 割）その他である。また、区部への流入者の年齢が 20 歳前後より上の年齢層への広がりも見られる。これも未婚者と離婚者が中心である。これらのシングルの区内定住年数は長くなって、定住化が進んでいる。

<発言の修正>

ミドル期シングルの増加傾向は全国の都市にみられる傾向である。主な原因は婚姻率の低下にある。地方圏の進行と比較すると、東京区部はシングル化の先端を歩んでいる。

<発言の追加>

ミドル期シングルが増加することは行政に何を提起しているか

これまで、行政施策を立てる際、ひとり暮らし高齢者問題以外は、当然のごとくに家族世帯を前提に考えてきたが、その段階は終わりつつあることを認識することが大事。家族世帯でくらししていない人が増加していることを前提にして施策を立てる必要がある。

―>自治体行政が現役年齢のシングル層の存在に目を向けること

―>シングル世帯は、災害時、不況時、失業、病気などをカバーする家族機能（セーフティネット）がないため、高齢者に限らず脆弱性をはらんだ人が少なくないことを念頭においた施策を立てる必要がある。情報発信、生活困窮者支援、家事援助、生活相談、孤立・孤独対策の適用

事例：英国のリンクワーカー

関係が希薄になった地域社会を築き直し、孤立・孤独問題を解決する

方法として登場。たとえば病気をもった人の社会参加のために、公的なサービスに橋渡しする。繋ぐ先は、芸術やスポーツや園芸グループ、ボランティア・・・

→シングルでも行きやすい場所、快い町、参加しやすいイベント・セミナーなどを増やす。例：図書館、区民センター、生涯学習センターその他の公共施設の見直し。シングルが求めている情報を発信する工夫。居場所となる空間の開発、カフェ、レストラン、テーブルとイスの設置、など安心して時を過ごすことができる場所を各所に作るなど

→孤立しやすい男性など、地域社会に参加しにくい区民の参加の道を探す
例：英国のメンズ・シェッド（DIY 男たちの小屋）・・・英国 全国に 500 箇所。オーストラリア、アイルランドに広がる。退職した男性の孤立を解消する目的で生まれた

→企業の役割 男性の多くは職場中心の人間関係。退職すると人間関係を失ってしまう。そこで、現役時代に地域社会につながる体験機会を増やす
例：プロボノ、社会貢献活動、社内の文化・スポーツ活動を地域社会につなげるなど

<発言の追加>

ミドル期シングルの増加は、配偶者のいない高齢期シングルの増加につながる

ミドル期シングルが増加するということは、やがて結婚しなかったか離婚した高齢シングルが増加することを意味している。子どもや親族の少ない人が今より多くなることが予想される。しかも、現在のミドル期シングルのなかに社会関係が希薄な人が少なくないことをみると、孤立・孤独な高齢シングルが増えることが危惧される。それを予防するためには、ミドル期シングルの社会関係作りに今から取り組む必要がある。

→「シングルが社会参加しやすい足立区」へ

- ・シングルの実態を把握すること、シングルの意識や希望を把握すること
- ・区の各種委員会等にシングルを意識的に加えること
- ・家族をもたない区民が社会参加し、意見を述べ、区政に関心をもち、楽しく暮らせるための仕掛けや配慮の方法を編み出すこと

<発言の追加>

家族というものを広く柔軟に認め、家族的関係性を持ちやすい環境をつくる

夫婦と子供で構成される核家族は全国的にマジョリティではなくなっている。23 区はそれが顕著。今後は、家族というものを広く柔軟に認め、家族のような親密な関係性を誰

でも求めればもてるようにする必要がある。そのためには、家族の多様性を公的に認め、制度を再検討することが必要である。事実婚、LGBTQ、祖父(母)と孫、里親と里子・・・、が広く受け入れられる政策が必要。足立区はまだ積極的とはいえないのではないか？

→同性カップルを認める制度を更に進める

東京都は、パートナーシップ宣言制度を作り、同性パートナーの規定を追加、扶養親族に含めた。その他に加えるべき内容はないか？

→居住形態として、コレクティブハウス、シェアハウス等の形態を広めること。シングルは一人住まいのアパートに住むという常識を見直し、ニーズに応じた多様化ができないか

<発言の追加>

シングルフレンドリーな足立区」「多様性が認められる足立区」を魅力として打ち出す・・・

新しい文化が足立区から生まれることをねらう

一人暮らしの高齢者施策だけでなく、すべての年齢のシングルが安心・安全・幸福に暮らせることを足立区の目標とする。